

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第1区分
 【発行日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【公開番号】特開2012-30223(P2012-30223A)
 【公開日】平成24年2月16日(2012.2.16)
 【年通号数】公開・登録公報2012-007
 【出願番号】特願2011-153393(P2011-153393)
 【国際特許分類】

B 0 1 D 53/62 (2006.01)

B 0 1 D 53/14 (2006.01)

B 0 1 D 53/18 (2006.01)

C 0 1 B 31/20 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 53/34 1 3 5 Z

B 0 1 D 53/14 1 0 2

B 0 1 D 53/14 1 0 3

B 0 1 D 53/14 Z A B C

B 0 1 D 53/18 E

C 0 1 B 31/20 B

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月2日(2014.7.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ガス流(24)から二酸化炭素を回収する方法であって、
 二酸化炭素をアミン化合物液体吸着剤(12)と化学反応させて固体材料(30)を形成し、

キャリア流体を添加せずに、固体材料(30)を再生ユニット(36)に乾式加圧輸送し、

再生ユニット(36)で固体材料(30)を加熱して熱反応を与え、固体材料(30)を二酸化炭素ガス(38)及び再生液体吸着剤(42)に分解する

工程を含む方法。

【請求項2】

固体材料(30)の乾式加圧工程で、固体材料(30)を第一圧力から第一圧力より高い第二圧力に加圧する、請求項1記載の方法。

【請求項3】

固体材料(30)の乾式加圧輸送工程でさらに、固体材料(30)を固体用ポンプ(100)のハウジング(102)とスプール(108)とによって画成される輸送通路内に上向きに発散出口(106)まで移動させ、かくして出口(106)を固体材料(30)で満たす工程を含む、請求項2記載の方法。

【請求項4】

反応室(14)に再生後の液体吸着剤(42)を送る工程を含む、請求項1乃至3のいずれかに記載の方法。

【請求項5】

二酸化炭素と化学反応させる前に液体吸着剤（１２）をアトマイズする工程を含む、請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の方法。